



# お知らせ

- 1学期の貸出は **7月10日(月)** まで
- 1学期の返却は **7月12日(水)** までにすませる
- 夏休み前の貸出は

**7月14日(金)・18日(火)・19日(水)**

※全員返却した学級から貸出しします

- 貸出冊数 **一人5冊** (2023年度購入の本は一人1冊)

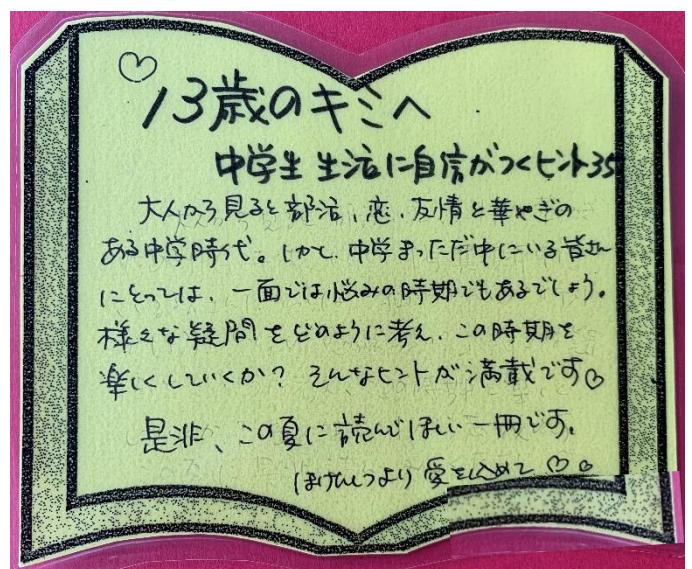
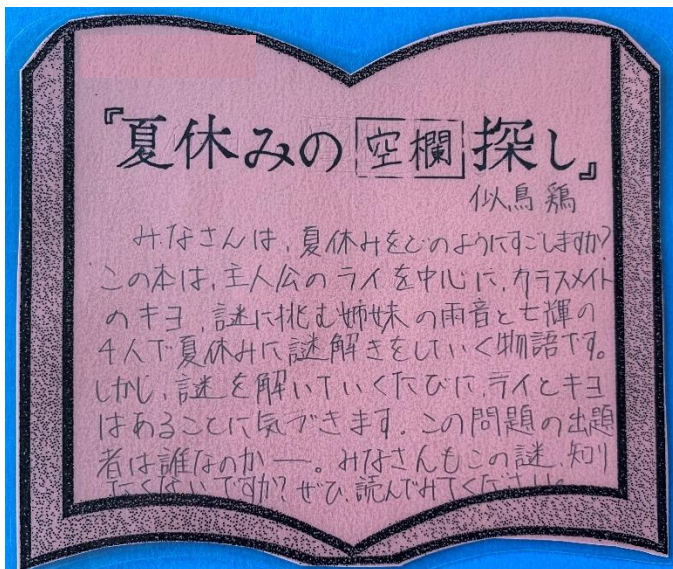
## 7月の学習部おすすめの本

3年 Y・M さん

『夏休みの空欄探し』 似鳥 鶏 著

養護教諭 K・H 先生

『13歳のキミへ』 高濱 正伸 著



## 新刊案内

### 「マンガでわかる能・狂言」

マンガでわかる能・狂言編集部 著

なぜ「能」と「狂言」はセットになることが多いの？初心者はどこに注目すれば楽しめる？難しそうだけど理解できる？眠くなったらどうしよう…。初心者におすすめの短めの演目や、印象的なヒーロー、ヒロインの登場する演目、押さえておきたい名曲などの注目ポイントを紹介。



### 「凧として弓を引く②」

碧野圭著

弓道をはじめて一年。初段を取り、高校二年生になった矢口楓は、後輩の高坂賢人にのせられ、廃部になった弓道部を復活させることに。しかし、校内に弓道場もなければ、入部希望者もなかなか集まらない。次々と難題が降りかかる。弓道女子の奮闘を描く傑作青春小説！



**2 枚目に続く！**





### 「江戸の食文化」 原田信男 著

一日三食の生活習慣、高級料亭から居酒屋・定食屋・屋台まで豊富な外食産業や旅行先で楽しむ名物料理など、現代日本人の食生活の基礎が形づくられた江戸時代。食材と調理法を工夫してきた江戸の食文化をひもとき、日本の食文化をあらゆる側面から探る。



### 「すぐわかる日本の・甲冑武具」 棟方武城 著

武器の発達や戦闘法の変化によって甲冑の様式や機能はどのように変わったか。絵巻や屏風絵などの絵画資料も示しながら、各時代の甲冑・武具の特徴を、工芸的な技法や美意識にまで踏み込んで見開き2頁単位で解説。



### 「はじめよう弓道」 原田隆次 著

もっともわかりやすい初心者向け弓道教本。弓具や道着、弓道八節、ゴム弓、巻き藁練習、稽古のやり方、射癖の直し方、体配、弓道用語まで、いちからしっかりわかる!



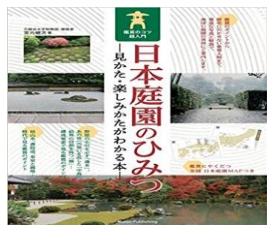
### 「歌舞伎の解剖図鑑」 辻和子 著

歌舞伎の「基本の『き』」と楽しみ方が、この1冊で丸わかり。豊富なイラストとわかりやすい文章で、歌舞伎の魅力を徹底解剖観劇の方法や、ストーリー・衣装・髪形・化粧など知っておきたいお約束はもちろん、歌舞伎に関する「知っておきたいあれこれ」を、分かりやすく解説しています。



### 「日本庭園のひみつ」 宮元健次 著

鑑賞のポイントから歴史に欠かせない重要人物まで。豊富な写真と解説で、奥深い庭園の世界にご案内します。枯山水、書院造、茶室と露地…時代で見る鑑賞のポイント。鑑賞にやくだつ全国日本庭園 MAP つき。



### 「雅楽のひみつ」 日本雅楽會 監修

悠久の歴史を紡いできた独自の音楽と舞。古典芸能の世界に触れ、魅力を知り、見識を深めることができる充実の一冊。編成など基礎知識から、使用楽器の詳細、作品や装束の解説まで。



### 「日本の歴史生活図鑑ビジュアルブック」

山田康弘 著

旧石器時代から平成時代までの各時代がどんな暮らしだったかをイラストで解説。どんな服を着ていたのか、どんなものを食べていたのか、どんな家に住んでいたのか、時代ごとにくらべることで新しい発見が生まれます。今どきのイラストで歴史に興味をもつきっかけにも。



### 「茶と花」 熊倉功夫・井上修 監修

伝統的な生活文化である茶道・花道に焦点をあて、その歴史的展開を跡づける。室町時代の武家文化の中で生成し、中世から近世へ向け大発展をとげ、さらに大衆化した茶道・花道の、現代の姿までを紹介する。



### 「Re:ゼロから始める異世界生活④」 長月達平 著

ついに合流したベアトリスと共に、激戦の渦中にある帝都で連れ去られたレムと再会したナツキ・スバル。第三勢力の介入に揺れる都市から撤退を決めたスバルだったが、そこに協力をもちかけてきたのは、因縁深き帝国兵トッド・ファンクだった。



### 「マンガでわかる日本料理の常識」 長島浩 監修

麴菌は世界最古のバイオ? □づけ器は日本だけ? 台所の語源は?日本の自然・風土や民俗、科学、歴史の視点で、食文化の原点から日本料理をひもとき、なぜ? という疑問にマンガやイラストも交えて解説します。



### 「塩の街」 有川浩 著

塩が世界を埋め尽くす塩害の時代。塩は着々と街を飲み込み、社会を崩壊させようとしていた。その崩壊寸前の東京で暮らす男と少女、秋庭と真奈。世界の片隅で生きる2人の前には、様々な人が現れ、消えていく。



### 「メメントモリ」 ヨシタケシンスケ 著

身も蓋もない言葉の中にだけ、希望を見出せるときもある。ヨシタケシンスケが描く「人は何のために生きてるの?」の3つのお話。『メメントモリとちいさいおさら』『メメントモリときたないゆきだるま』『メメントモリとつまないえいが』の3つ。

